



図 12

排汁槽への雨水等の流入対策

④ 排汁槽への雨水流入

今回、傾斜地を利用して施設を設置したため、排汁の抜けは良かったのですが、周囲から雨水が排汁槽に流れ込むというトラブルがありました。

すぐに排汁槽が満杯になってしまうため、図 12 のように排汁槽ののり面上に集水管の出口と同じ高さまで土盛りを行い、シートで覆いカサを上げてみました。

これにより、排汁槽へ周囲からの雨水が直接入ることを防ぐとともに、満杯になった排汁が流れ出ることを抑えることができると思われます。

(6) 今後の予定

堆肥の散布作業は 11 月中に行われました。

今後の予定は、主に越冬時の作業性を中心に調査が進められていきます。

堆肥は翌春まで堆積し、散布時の状態や成分などについて分析が行われます。施設については、翌春の堆肥散布後に床土の状態や底部シートの状況について調査が行われる予定です。

2 根室管内のふん尿処理施設

ふん尿処理施設には堆肥処理施設とスラリー処理施設があります。環境汚染の防止や水分調整のため、屋根の設置や堆積物から出る排汁を尿溜に誘導するなど、環境対策を施した施設が主流になってきました。

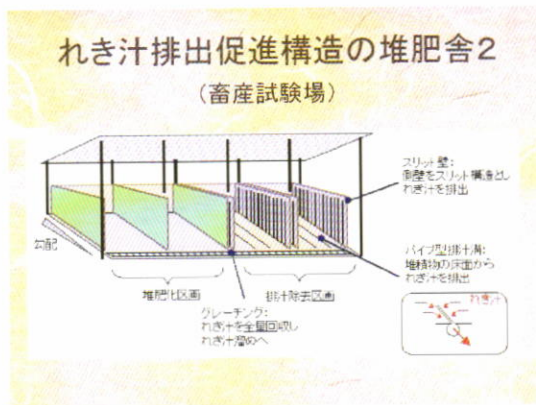


図 13

れき汁排出促進構造の堆肥舎2

(畜産試験場)

(1) れき汁排出促進構造の堆肥舎

堆肥からの排汁排出を促進して発酵を進めるため、オーパイプやスリット壁を利用した堆肥舎が根釧農業試験場で考案され、畜産試験場で実証試験をしています (図 13)。

(2) シートを利用したスラリー処理施設

地中への排汁の浸出を防止するため、シートを敷設しています。また、雨水と分離するため、スラリーの上に雨水分離シートを被覆します (図 14)。

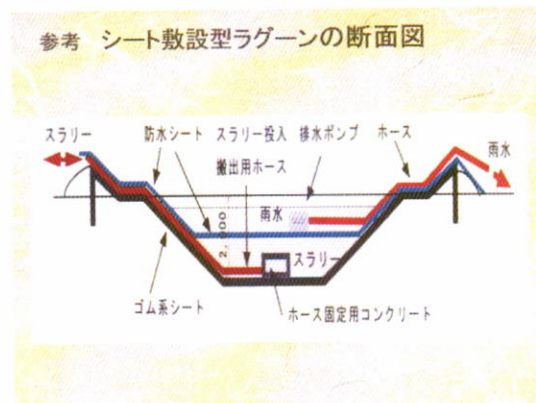


図 14

参考 シート敷設型ラグーンの断面図

(3) その他の処理施設および機械

① バイオベッド

ルーズバーン方式の牛舎で、牛床でふん尿と敷料を自然に攪拌させて発酵させる方式です。

② 発酵促進装置

堆肥の発酵を促進するため、定期的に堆肥を攪拌する装置や施設を導入している事例があります。

ここにあげた事例のほか、根室管内や他の地域のふん尿処理施設の事例が CD-ROM に紹介されています。

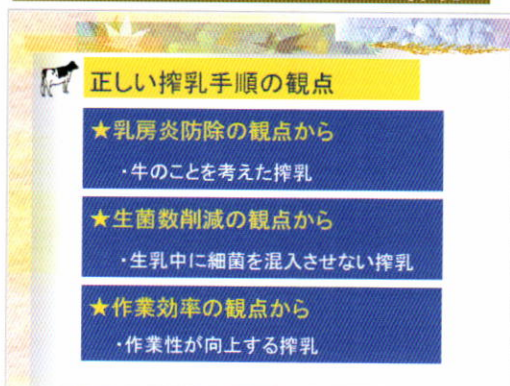
付属CD掲載のその他のスライド

付属CDに掲載しているスライドの主な内容について紹介します。ここに掲載しているスライドは南根室地区の研修会等で使用するために作成したスライドを再編成したものです。

他に「用語集」を掲載しています。「用語集」ではつなぎ飼い牛舎、フリーストール、サイロ、糞尿施設・機械について説明しています。

V 乳質管理

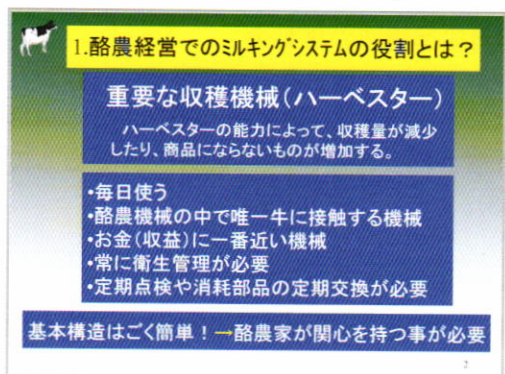
1 乳汁排出の仕組みと正しい搾乳



酪農家の毎日の仕事で最も重要な搾乳作業を円滑に行うためには、乳牛の泌乳生理を理解し、適切に搾乳を行うことが不可欠です。正しい搾乳により、乳房炎の減少、衛生的な搾乳、搾乳時間の短縮が期待できます。

<主な内容> ・生乳はどこでできる？
・オキシトシンの働き
・生乳が搾られる仕組み
・正しい搾乳方法
・搾乳作業の注意点 など

2 ミルカーって何だろう？



搾乳は酪農の収穫作業です。この収穫を行う機械がミルカーです。乳牛が作り出した「実り」を確実に収穫するためにミルカーをしっかりと整備し、収穫量と品質を最大にしたいものです。

<主な内容> ・ミルカーとは
・ミルカーによる牛のトラブル
・ミルカー利用時の注意事項
・ミルカー設置の留意点
・クロー内圧の測定結果 など

3 生菌数削減のために



良質乳の基準の一つである生菌数、その削減は飲用乳への期待が高まる中で、最重要課題です。搾乳作業や出荷までの貯留で生菌数を増やさない衛生管理が今求められています。毎日の搾乳と洗浄の中でしっかりしたチェック体制を確立し、おいしい生乳を出荷しましょう。

<主な内容> ・根室管内の取り組み
・生菌数の増加の原因
・洗浄方法の注意点
・生菌数削減のポイント